

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター	
薬剤部科URL	https://kumamoto.hosp.go.jp/about/departement_pharmacist.html	
キャッチコピー	楽しく働く二刀流	
学生へメッセージ	熊本医療センターには多くの診療科があり様々な疾患に対する薬物療法を学ぶことができます。各分野の認定薬剤師も多く在籍し、新人薬剤師は先輩薬剤師によるマンツーマンのサポートを受けながら多くの経験を積むことができます。薬剤部には幅広い年齢層の薬剤師が在籍し、和やかな雰囲気です。実際に見ていただくと、より当院の魅力が伝えられると思います、病院見学も随時対応していますので是非一度見学にお越しください。	
プロフィール (600字程度)	・当院はJR熊本駅より2kmに位置し熊本城の隣にあります。近くには城彩苑や加藤神社等の観光施設、桜町バスターミナルや商業施設もあり利便性の高い場所に立地しています。 ・救急医療とがん診療を2本の大きな柱に地域医療を担っている病院です。 ・クリティカルパスに積極的に取り組み、質の高い医療を効率的に提供することへ努めています。 ・薬剤部は、病院機能に応じた救命救急医療における感染症、循環器疾患、精神疾患等、地域がん診療連携拠点病院におけるがん、緩和医療等幅広い医療に対して業務を行っています。	
連絡先	096-353-6501	
アクセス [200文字以内]	熊本駅より バス：熊本駅前バス停～桜町バスターミナル（所要時間：約10分）から徒歩10分 市電：熊本駅前電停～熊本城・市役所前電停（所要時間：約10分）	
診療科目	総合診療科、内科、腎臓内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、放射線治療科	
病床数	550床（一般）；500床（精神）；50床	
病院の特徴	救命救急センター（救急告示病院、病院群輪番制病院）災害拠点病院（地域災害医療センター）、地域がん診療連携拠点病院、精神科救急医療施設、開放型病院、地域医療支援病院、臨床研修指定病院、骨髄移植実施施設、国際医療協力基幹施設、熊本県地域救急医療体制支援病院・病院機能評価認定3rd.G Ver. 1.0（一般病院2）、付加機能評価（救急医療機能Ver. 2.0	
アピールポイント	お互いを助け合うチームワークのよさ	
研修施設	医療薬学専門薬剤師研修施設、がん専門薬剤師研修認定施設、薬物療法専門薬剤師研修施設、小児薬物療法薬剤師研修施設	
薬剤師数	34名	
薬剤師構成	（男女比）男性 14名 ： 女性 20名	年齢構成 20代12名 30代12名 40代8名 50代2名
認定資格・数	感染制御認定薬剤師 1名、HIV感染症薬物療法認定薬剤師、医療薬学専門薬剤師、医療薬学指導薬剤師 2名、 外来がん治療認定薬剤師 2名、日本臨床薬理学会認定CRC、認定実務実習指導薬剤師 5名、小児薬物療法認定薬剤師、 日本糖尿病療養指導士、NST専門療法士 2名、抗菌化学療法認定薬剤師 3名、スポーツファーマシスト 2名、 日本DMAT登録1名、GCPパスポート 2名、心不全療養指導士、災害薬事研修コースPhDLS プロバイダー	
臨床研究実績	（2024年度）第78回国立病院総合医学会 4演題、第34回医療薬学会 5演題、第72化学療法学会総会 1演題 第72化学療法学会西日本支部総会 3演題 （2023年度）第33回日本医療薬学会 5演題、第13回日本臨床腫瘍学会 3演題、 第77回国立病院総合医学会 2演題 （2022年度）第76回国立病院総合医学会 6演題	
チーム医療活動	ICT（感染対策防止加算1）、AST、NST、褥瘡、緩和、リエゾン	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	